

「ウポポイ」を活用した学習活動

石狩管内 江別市立対雁小学校

1 学習活動の概要

「ウポポイ」の職員による展示品についての講話や伝統的コタンにおけるチセ（家屋）の見学、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「アイヌ古式舞踊」の鑑賞を通して、アイヌの人たちの歴史・文化等について理解を深める教育活動を行いました。

2 取組の様子

(1) 課題の設定

児童は、「生活」「食」「文化」「歌・踊り」「遊び」などのテーマから、興味や関心のあるテーマを選択し、学習課題を設定しました。

(2) 情報の収集

児童は、ICTを活用して、「ウポポイ」で調べたい展示品等を考え、学習計画を立てました。その後、見学旅行において、グループごとに、アイヌ古式舞踊の鑑賞や丸木舟の見学、「ウポポイ」の職員の講話を通して、アイヌの人たちの文化等について理解を深めました。

(3) 整理・分析

児童は、ICTを活用して、見学旅行を通して収集したアイヌの人たちの伝統的な文化の特色や背景に関する情報を整理・分析しました。

(4) まとめ・表現

児童は、写真を効果的に用いながら、レポートにまとめました。また、学習したことを踏まえ、国語科において、「ウポポイ」の魅力を伝える提案文を作成することを通して、自分の考えを表現する力の向上を図りました。



【「ウポポイ」の職員による説明】



【屋外ステージでの「アイヌ古式舞踊】

3 児童の感想等

- ・当時のアイヌの人たちの生活の様子を表した展示物を見学し、シカ1匹でどのようなことができるのか、興味深く学ぶことができました。
- ・屋外のステージで歌や踊りを見て、特に印象に残っているのはムックリの演奏です。糸を引っ張っているように見えるのに、音程や速さが変わっていて、どのように演奏しているのかとても不思議でした。
- ・アイヌの人たちが使っていた木のボートの話を聞いた後、「ウポポイ」の職員の方がボートに乗り、立ったまま湖を半周したのを見て、とてもすごいと思いました。
- ・チセは天井も高く、とても広かったです。チセの中で飾られていたアイヌの文様の赤い色は、当時とても貴重で、大事にされていた色だということが分かりました。
- ・「ウポポイ」を日本語にすると、「みんなで歌う」という意味があり、「踊りや歌をみんなで楽しむやろう」という思いが込められた言葉として使われるようになったことを知りました。